35010922　ver.06

SecureLock Manager Easy の使いかた

本書は、本製品の暗号化機能管理ソフトウェア「SecureLock Manager Easy」について説明します。

SecureLock Manager Easy とは

本製品の暗号化設定を行うソフトウェアです。このソフトウェアを使用すれば、パスワードを設定したり、暗号化モードの変更やパスワードの変更、自動認証などを設定することができます。

お使いになる前に

SecureLock Manager Easy をお使いになる前に、以下のことをご確認ください。

- **パスワードは厳重に管理してください。**
  パスワードを忘れた場合、本製品の設定、認証が行えず、保存したデータは一切取り出せません。パスワードを忘れた場合は、本製品を出荷時の状態に戻してください。

- SecureLock Manager Easy は、Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003 R2/Server 2003 に対応しています。
  ※ 上記は、SecureLock Manager Easy の対応 OS です。製品によっては対応 OS が異なることがありますので、製品の対応 OS にも適応したパソコンでお使いください。
  ※ Windows Server 2003 R2/Server 2003 の場合、コンピューターの管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログインしないとお使いいただけません。

SecureLock Manager Easy を起動する

SecureLock Manager Easy は、以下の手順で起動してください。

1　本製品をパソコンに接続します。

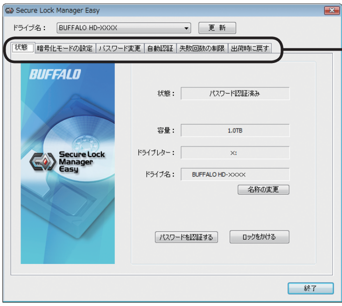
パスワード認証の画面が表示された場合は、パスワードを入力します。
メモ パスワードを忘れて出荷時の状態に戻す場合は、画面を閉じてください。

2　[スタート] − [（すべての）プログラム] − [BUFFALO] − [SecureLock Manager Easy] − [SecureLock Manager Easy] をクリックします。

SecureLock Manager Easy が起動します。

SecureLock Manager Easy の項目説明

SecureLock Manager Easy の画面上のタブをクリックすることにより、以下の設定を行えます。



設定する項目をクリックします。

- **状態**（P3）
  本製品の状態を確認できます。

- **暗号化モードの設定**（P3）
  暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。

- **パスワード変更**（P4）
  登録済みのパスワードを変更できます。

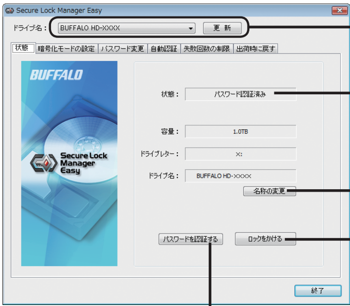
- **自動認証**（P4）
  パソコンへの接続時にパスワード入力が省略できます。

- **失敗回数の制限**（P5）
  パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。

- **出荷時に戻す**（P5）
  本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

■状態

本製品の状態を確認できます。



設定する本製品を選択します。

本製品の状態を表示します。

名称を変更します。半角 30 文字以内で入力してください。
※この名称は SecureLock Manager Easy でのみ表示されます。

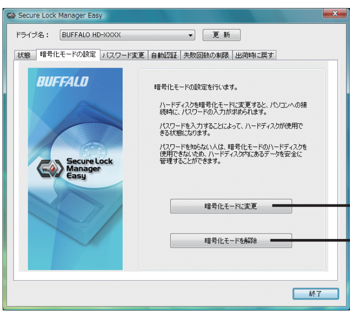
本製品をロックします。
※パスワード認証前の状態にします。

パスワードを入力して認証します。
※暗号化モードを解除した場合は、使用しません。

状態	
通常	本製品にアクセスできます。
パスワード認証前	パスワードを入力するまで、本製品にアクセスできません。
パスワード認証済み	本製品にアクセスできます。

■暗号化モードの設定

暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。



暗号化モードに変更します。通常モードの本製品に対し、パスワードを設定します。パスワード認証に成功しないと、本製品を使用できません。

暗号化モードを解除します。通常のドライブとして、使用可能です。
※第三者にデータを取り出される恐れがあります。

■パスワード変更

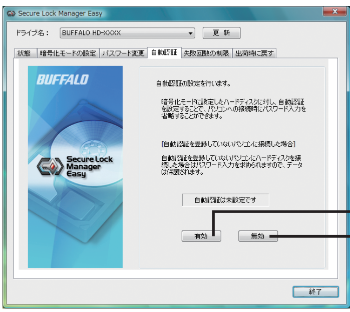
登録済みのパスワードを変更できます。



パスワードを変更します。
※通常モード、パスワード認証前は設定できません。

■自動認証

本製品のパスワード入力方法を設定します。パスワードを自動で入力（自動認証）することができます。お使いのパソコン１台ごと製品ごとに設定を行います。



自動認証を有効にします。パスワード入力が省略できます。
※パスワード入力が省略できるのは、本機能を有効にしたパソコンのみです。
※他のユーザーでログオンした場合も、パスワード入力を省略します。

自動認証を無効にします。

⚠注意 お使いのパソコンを複数のユーザーで使用されている場合は、自動認証を有効にする設定はお勧めできません。ハードディスク内のデータが通常のハードディスクと同じように見えるため、他の人に閲覧、削除、編集される可能性があります。

■失敗回数の制限

パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。



パスワード入力の失敗回数を「3 回」「5 回」「10 回」から選択します。

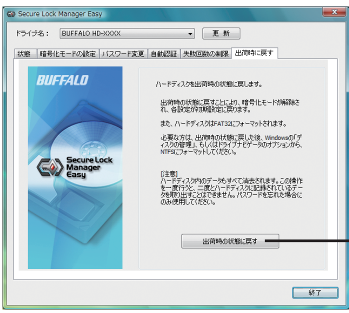
失敗回数に達した場合の動作を選択します。

設定を適用します。

失敗回数に達した場合の動作	
パスワード入力画面を終了する（初期値）	パスワード入力画面が終了します。認証するには、改めてパスワード入力画面を起動してください。
XX の間、認証できない	XXは「5分」「10分」「30分」「1時間」のいずれかを選択します。設定した時間が経過するまで、認証できません。

■出荷時に戻す

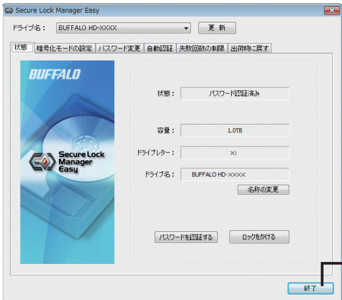
本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。



出荷時の状態に戻します。パスワードや記録済みの全データを削除します。
※暗号化モードは解除されます。

SecureLock Manager Easy を終了する

SecureLock Manager Easy を終了するときは、画面右下の［終了］をクリックしてください。



アンインストールするときは

SecureLock Manager Easy が不要になった場合は、アンインストールできます。アンインストールするときは、［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［SecureLock Manager Easy］－［アンインストール］をクリックし、画面の指示に従ってください。